

2019年4月3日

みなとみらい 21 中央地区 58 街区本格始動 2021 年の竣工に向け「横濱ゲートタワー」が着工

鹿島建設株式会社
住友生命保険相互会社
三井住友海上火災保険株式会社

鹿島建設株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:押味至一)、住友生命保険相互会社(本社:大阪府大阪市中央区、取締役代表執行役社長:橋本雅博)、三井住友海上火災保険株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:原典之)は、3社共同で開発する「みなとみらい 21 中央地区 58 街区」について、ビル名を「横濱ゲートタワー」とし、本日着工いたしました。

本計画は、横浜市による「みなとみらい 21 中央地区 58 街区」の事業者公募において、上記 3 社で構成するグループが選定されたものです。計画地は、横浜駅至近、横浜駅からみなとみらい 21 への玄関口となる広さ約 9,300 m²の敷地で、周辺では企業の本社ビル、研究開発施設などが続々と開発されています。その希少性・利便性の高い立地特性を最大限に活かし、オフィス基準階の専有面積が約 825 坪、延床面積約 84,000 m²の複合ビルを建設します。本社機能、研究開発施設にも対応する高機能な賃貸オフィス(一部を事業者の 1 社が自社利用)と、貸会議室、クリニック、保育所など、オフィスワーカーが快適に働ける環境を提供するほか、横浜の新たな名所として併設するプラネタリウムは、にぎわいを創出する場として期待されています。

さらに、BCP 対策として高性能制震装置を採用し、帰宅困難者の一時待機スペースといった災害支援機能も兼ね備えており、安全・安心な街づくりに寄与する優れた防災機能をもつ施設を目指し、事業を推進してまいります。



「横濱ゲートタワー」完成イメージ

【計画概要】

所在地：横浜市西区高島一丁目2番50ほか12筆

交通：JR・私鉄等「横浜駅」徒歩6分、みなとみらい線「新高島駅」徒歩1分

敷地面積：9,307.95 m²

延床面積：約84,000 m²

用途：事務所、にぎわい施設、店舗、駐車場

構造規模：S造(制震構造)、地下1階・地上21階

設計：鹿島建設株式会社

施工：鹿島・鉄建・小俣建設共同企業体

工期：2019年4月着工、2021年秋頃竣工(予定)、2021年冬頃開業(予定)

※本プレスリリースの内容は発表日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。



位置図

(参考:2017年10月23日プレスリリース)

「横浜市公募事業「みなとみらい21中央地区58街区」の事業予定者に選定」

<http://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2017/171023.pdf>